



東北再生への願いを込めて



東北を歩く

小さな村の希望を旅する「増補新版」

結城登美雄・著  
新宿書房 / 2000円＋税  
03・3292・3292

東日本大震災は東北の太平洋岸の町や村を襲い、命を奪い、ありとあらゆるものを傷つけていった。本書に描かれているのは、震災以前の東北の地で、自然に寄り添って力強く生き、働く人々の尊い姿だ。読み進めると彼らの確かな息遣いが聞こえる。その姿が、これから厳しい時代を生きなければならぬ若者や次世代の希望につながるようにこの願いが込められている。震災後、被災地を訪れた著者は言う。「人々はあきらめてはいなかった。自然は厳しさを恐るしきだけでなく、やさしさと豊かさをも持っていることを知る人々。すべてを失つてもなおこの地で生きていこうとする人々。その姿をたずねて、もう一度東北各地を歩きたい」。

公共政策を立案するすべての人に贈る基本書

政策を創る！考える力を身につける！  
「政策思考力」基礎講座

宮脇 淳・著  
ぎょうせい / 2667円＋税  
0120・953・431



地域主権の進展により地域の実情にあった「政策を創る力」が求められる。東日本大震災のような未知の事態に遭遇したとき「自ら解決策を見出す力」を身につけていけば、迅速な対応が可能になる。本書では、そんな「政策思考力」が習得できる。環境変化に耐え抜く政策を創るための「知能」、閃きを体系的・持続的な政策に変えるための「知力」、考えた政策を具体化させる「ネットワーク」「議論・交渉」、よりよい政策に昇華させるための「診断」の5分野、全76項目からなる解説は、1項目完結の構成で、気になる部分から読める。過去の常識が通じなくなった今だからこそ、自治体職員として読んでおきたい。

地域の食文化を再発見し、マネジメントする力を！



地域ブランドを引出す力

トータルマネジメントが田舎を変える！

金丸弘美・著  
合同出版 / 1400円＋税  
03・3294・3506

本誌の連載コラム「食と地域の旅日記」の著者の新刊。食の総合プロデューサーとして全国を駆け回り、地域に根着いた食文化を再発見し、各地の元気を繋いで発信し続けてきた。著者のフィールドは国内のみならず、イタリア、ドイツ、イギリスにも及ぶ。過疎地や田舎にもかかわらず「若者が働く場がある、高齢者が元気、農業の新しい展開がある、商店街に活力がある、女性が活躍する」など、新たな創造と活力を生み出した地域を紹介しながら、金丸流の視点から、人モノ、そして地域を元気にする方法を伝授してくれる。

本書のもうひとつのテーマは、「健康な未来を子どもたちに手渡すこと」だという。

進む空間情報の相互利用・管理の共同化



地域を支える空間情報基盤  
クラウド時代に向けて

関本義秀・監修  
東京大学空間情報科学研究センター 寄附研究部門 空間情報社会研究イニシアティブ 編著  
日本加除出版 / 3500円＋税  
03・39553・5757

GISという言葉で定着してきた空間情報。カーナビの普及や、Googleマップなどウェブをベースにした電子地図の利用が進み、空間情報は一層身近なものになった。07年には「地理空間情報活用推進基本法」が制定された。本書は、同法成立にも貢献した東京大学空間情報科学研究センターが、自治体や地域における空間情報の相互利用や管理の共同化のあり方を解説したもの。三重県、岐阜県、熊本県の統合型GISの取り組みなど具体的な事例も参考になる。東日本大震災からの復興を願う特別寄稿や座談会等も緊急収録。空間情報基盤の共同化により自治体の業務効率化、住民サービスの向上に大いに効果が期待できる。